

平成28年9月12日

林野庁長官
今井 敏 殿

一般社団法人 森林技術コンサルタンツ協議会
会長 小林 洋司

入札契約制度等について（要望）

貴職におかれましては、日頃から「森林技術コンサルタンツ協議会」の活動につきましてご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

本年5月に閣議決定された新たな「森林・林業基本計画」では、森林の有する多面的機能を将来にわたって持続的に発揮させていくため、面的なまとまりをもった森林経営の確立、多様で健全な森林の整備及び国土の保全等の施策を総合的かつ体系的に進めていくこととされています。このなかで、「効果的な治山事業の推進」、「適切な間伐等の実施」、「路網の整備」「再造林等による適切な更新の確保」、「森林関連情報の整備・提供」などの必要性が指摘されているところであります。

このような森林林業政策の推進に当たって、森林整備・保全計画の策定、各種事業の調査・設計及び施工管理などの業務で、的確な森林技術と高い見識を有する技術者を擁する森林技術コンサルタントは、重要な役割を果たしていると考えています。

また、本協議会は、技術者の専門技術力向上、森林技術の開発・蓄積・普及啓発、森林技術コンサルタントの社会的役割の啓発等を通じて森林技術コンサルタント業の健全な発展に資することを目的に活動を続けています。

さて、国有林野事業において、品質確保対策の一環として推進されている総合評価落札方式、低入札価格調査制度等につきましては、成果品の品質確保はもとより、森林コンサルタント経営の安定、ひいては技術力の向上という観点からも高く評価されるものと考えています。

今後とも、両制度の発展的な運用が図られるとともに下記事項について特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。また、森林技術コンサルタンツ協議会の活動についてご理解を頂き、更なるご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 林野公共予算の確保—国土保全、森林整備対策の拡充

新たな「森林・林業基本計画」に基づき、多様で健全な森林の整備及び国土の保全等の施策を総合的かつ体系的に進めていくために、また、安定的な事業量の確保により優良な森林技術コンサルタントを育成するという観点からも、これまで以上に林野公共事業予算の拡充を要望します。

2. 総合評価落札方式対象事業の一層の拡大

国有林野事業においては、平成22年度から総合評価落札方式を導入されて、その対象事業は森林土木事業から造林、素材生産事業へと順次拡大されており、品質確保に効果を発揮しています。今後は、測定事業や収穫調査事業等の森林調査事業（森林環境調査を含む）をその対象事業にされますよう要望します。

3. コンサルタント業務への林野庁長官表彰制度の導入、総合評価落札方式への反映

治山、林道、造林、素材生産等の事業については、優良な実績について林野庁長官の表彰制度があります。コンサルタント業務についても、その成果品の良否が工事実行に多大な影響を与えるものと考えます。また、コンサルタント業務の成果品を審査し表彰することは、優秀なコンサルタントの育成にも寄与すると考えます。このため、コンサルタント業務への林野庁長官表彰制度を創設するとともに総合評価落札方式等へ反映されることを要望します。

4. 入札制度、調査・設計事業等の実施にあたって、局署間での運用の考え方の統一

総合評価落札方式、低入札価格調査制度等の入札制度の実施にあたっては、継続教育（CPD）の評価、低入札時の対応等について、局署間でその運用に違いがあることも見受けられるので、局署間での考え方の統一を要望します。

また、治山事業、林道事業、測定事業、森林調査事業等についても、調査・設計にあたっての技術的な考え方の統一を要望します。

5. 総合評価落札方式における森林技術者のさらなる評価

評価項目の一つ、森林分野継続教育技術者のCPDポイントについては一層の高い評価がなされるよう特段の配慮を要望します。

森林土木技術、森林調査技術等は、他の分野の技術者では直ちに対応できない多くの特性を有しているため、高等技術教育、技術者資格、継続教育（CPD）等についても森林技術分野独自の制度を維持しています。これらの森林技術の特性を評価して頂き、総合評価落札方式等の運用にあたっては、森林技術者（森林部門技術士、林業技士ほか）の更なる評価を要望します。

6. 本協議会専門部会の活動への継続的な支援及び活用

本協議会の専門部会では、森林技術業務に関する情報の収集・分析、技術的課題の検討等を行っています。この専門部会の活動にあたっては、林野庁の技術担当官との意見交換の場を作り、その成果を林野庁の施策にも反映して頂いています。今後も専門部会への継続的な支援及びその活動成果の活用を要望します。

小林会長より本郷国有林野部長に要望書を手交



陳情書（要望）の説明

